

令和4年10月28日

ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO 2022 レポート

(公社)広島ビルメンテナンス協会
事務局 主任 柳川 達彦

日時	令和4年10月28日(金) 13:00~14:30
場所	東京ビッグサイト 東展示棟2ホール
テーマ	「本音の外国人雇用 喜怒哀楽 ~外国人を採用してどうよ?~」
講師	株式会社環境ビルサービス 岡田 洋治氏 株式会社東海ビルメンテナンス 鈴木 慎也氏 共立管財株式会社 坂口 義和氏 株式会社エス・ビー・エム 村松 淳氏
目的	講演会で学んだ情報を会員等へ提供する。
概要	外国人材を迎えるにあたり試行錯誤する中で得た成功事例や失敗事例について、ASCF 外国人材受入支援センターのサポートサービスを利用した4社の講師が受入ノウハウや実情など経験談を語った。
講演内容	まず、4社の講師が自社の事例を紹介した。 ○株式会社環境ビルサービス 岡田 洋治氏 労働者の減少に伴い会社の売上が減少したため、外国人の採用を決めた。 徳島県の企業のため、東京都との賃金格差が大きく、求人票は外国人にとって見劣りしたが、残業手当や生活支援を厚くすることで就職希望者を増やした。 ○株式会社東海ビルメンテナンス 鈴木 慎也氏 長期雇用が期待できることや労働意欲が高いことを理由に外国人の採用を決めた。 コミュニケーションの難しさから、外国人が仕事で失敗することも多かったが、最初に採用した外国人が新人の外国人を指導するようにしたことで、指導者が自分が失敗した部分を教えることができ、同じ失敗が繰り返されなくなった。 ○共立管財株式会社 坂口 義和氏 雇用の安定を図るために外国人の採用を決めた。 入社後のミスマッチを防ぐため、採用前にどんな仕事をするかを説明し、面接ではラフな服装で、雑談などに時間をかけることで外国人の人柄を深く理解することができた。 ○株式会社エス・ビー・エム 村松 淳氏

人手不足で現場従業員の業務負担が増え、外国人の採用を決めた。
お祈りや服装など、事前に宗教的な問題がないかを確認しておく必要があると感じた。

最後に、4人の講師から、外国人を採用して良かったこととして、素直で挨拶が良いなどお客様からの評価をいただいたこと、日本人スタッフにもいい影響や刺激が出たこと、現場に一体感が生まれたことが挙げられた。